

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 難病セミナー開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部保健医療課難病対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2583)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 190 千円 (前年度予算額：190 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	190	0	0	0	0	0	0	0	190
要求額	190	0	0	0	0	0	0	0	190
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

難病セミナーを通じて、医師や理学療法士等から、治療や療養についての情報提供が行われることで、患者及びその家族の心理的負担の軽減を図る。

また、患者同士の交流の場として情報交換を行うことで、長期に渡る療養生活の質の向上を目的とする。

(2) 事業内容

指定難病・小児慢性特定疾病患者及びその家族を対象に、各保健所が管内に多い疾病患者等、対象者のニーズを把握し、難病セミナーを開催する。

(セミナー内容)

- ・ 疾病に関する正しい知識の習得
- ・ 食事、運動等療養生活上の注意点や工夫等に関する学習
- ・ 患者や家族同士の交流、情報交換
- ・ 地域支援体制や各種制度利用について

(3) 県負担・補助率の考え方

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額 (千円)	事業内容の詳細
報償費	91	医師等講師の報償費
旅費	49	医師等講師の費用弁償
需用費	11	事務消耗品費
役務費	39	セミナー案内郵送料、電話代
合計	190	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 難病セミナーを通じて、医師や理学療法士等から、治療や療養についての情報提供が行われることで、患者及びその家族の心理的負担の軽減を図る。
 また、患者同士の交流の場として情報交換を行うことで、長期に渡る療養生活の質の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

当事業の内容は数値で表すことができないため、指標を設定することはできない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 指定難病・小児慢性特定疾病患者及びその家族を対象に、各保健所が管内に多い疾病患者等、対象者のニーズを把握しセミナーを開催。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 各保健所が管内の実情やニーズに応じたセミナーを開催することで、患者やその家族が疾病に関する理解を深めるとともに、患者同士や関係者との交流などを通じて、心理的負担を軽減や療養意欲の向上を図ることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
<p>(評価) ○</p>	<p>本事業は、平成21年度で事業を1度廃止し、難病セミナーの目的である「患者及びその家族同士の交流」を、難病団体連絡協議会への委託事業である「難病医療相談会事業」の中で取り入れたが、個別の疾患ごとの相談会である医療相談では、患者同士の時間を確保することが難しく、十分な交流を図ることができなかつたため、患者団体等からの強い要望により平成23年度から再度実施している。そのため、必要性の高い事業である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
<p>(評価) ○</p>	<p>本事業の実施によって、難病患者同士の交流の場ともなり、日常生活での不安が軽減されることにもつながることから、有効な事業である。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
<p>(評価) ○</p>	<p>各保健所を実施主体とすることにより、より地域の患者のニーズに合ったセミナーを開催することができ、効率的に実施できている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 難病法成立に伴い、対象疾病が大幅に拡大されたため、対象疾病の選定が困難となる。特に、患者数が少数の疾患などは、患者数が多い疾病に比べニーズが十分把握できず、セミナーの対象とすることが困難である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 当事業の実施によって、治療や療養についての情報提供が行われることにより、患者及びその家族の心理的負担が軽減され、また患者同士の交流の場として情報交換が行われることで、長期に渡る療養生活の質の向上に役立つため、難病セミナー開催の要望は強く、来年度も継続して事業を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	